



医療教育開発センター ニューズレター

NEWS LETTER

Contents | 1 巻頭言 2 副センター長の紹介

1 巻頭言



医療教育開発センター長 赤池 雅史

医療教育開発センターは、高度専門医療人や優れた生命科学研究者の育成を目指して、医療系全領域にわたる教育・研究・診療組織がひとつのキャンパスに集約している徳島大学の強みを最大限に活かしながら、医療系3学部・5大学院の連携・共通教育の支援やスキルス・ラボの管理・運営を行っています。大学院教育では、共通科目e-learning、英語プログラム、Tokushima Bioscience Retreat、教育クラスターの支援、学部教育では、チーム医療入門、学部連携PBLチュートリアル等で構成される専門職連携教育、スキルス・ラボを拠点とした

シミュレーション教育、模擬患者参加による医療コミュニケーション教育の充実に取り組んでいます。また、徳島大学病院と連携した卒前卒後一貫の低侵襲手術手技トレーニングプログラム、理工学部等と連携した医光融合人材育成にも参画しています。2023年9月には医歯薬学共創プラザ第1期工事で完成した新しいスキルス・ラボの利用が開始されており、蔵本地区の教育・研究環境の特色を活かして組織・領域横断的な医療系教育のさらなる充実を目指したいと考えています。皆様のご指導ならびにご支援をよろしくお願い致します。

2 副センター長の紹介



大学院医歯薬学研究所 医学域医科学部門 医療教育学分野 准教授 西田 憲生

医療教育では、初年次から垂直・水平連携教育、さらに職域連携（チーム医療）教育が求められております。シミュレーション教育を通して、座学で覚えた知識を、実践で使える知識へと昇華できる場を提供し、「人」を統合的に診る感性を育む支援をしていきたいと思っております。また、共創プラザの移設拡大に伴い、多職種連携をはじめ、医療教育をより活性化するプログラムにも取り組んでいきたいと思っております。



大学院医歯薬学研究所 薬学域薬科学部門 創薬理論化学分野 教授 立川 正憲

薬学部は、チーム医療の一員として、薬を取り巻く問題解決能力を備えた薬剤師、及び創薬・操薬分野での高い研究能力を身につけた研究者の育成を担っています。医療専門職連携教育を通して、薬学の強みを生かしながら、地域的かつ世界的視野で活躍できる人材の育成に取り組んで参ります。



教養教育院 創成科学教育分野 教授 岩田 貴

外科専門医の経験を生かして、初年次から高学年・初期研修・専門教育から生涯教育まで、医学、歯学、薬学問わず、学部横断的に一貫したシームレスな医療教育に携わっております。また、新しいシミュレーション教育、シミュレータなどを開発・研究・実践して、理論と実践をしっかり学ぶことができる充実した実習ができるように努めています。



大学院医歯薬学研究所 歯学域口腔科学部門 顎機能咬合再建学分野 教授 松香 芳三

徳島大学歯学部歯学科は四国地区において唯一の歯科医師養成組織であり、歯科医療教育の中心的役割を果たしています。また、口腔保健学科は優れた歯科衛生士・社会福祉士を養成しております。医療教育開発センターにおいては他学部と連携を密にすることにより、多職種連携を実践可能である優れた歯科医療者・歯科医学研究者を輩出できるように尽力したいと考えております。



応用栄養学分野 教授 瀬川 博子

医科栄養学研究科では、医学を基盤とした栄養学・生命科学の基礎研究・臨床研究の実践ならびに教育を担う人材の育成、高度な臨床栄養管理学を習得し、医療チームにおいて臨床栄養管理を指導できる管理栄養士の育成と臨床経験を有した栄養学教育・研究者の育成に取り組んでいます。新たに本年度4月から博士前期課程において「人類の有人宇宙開発」に貢献できる管理栄養士や宇宙栄養学研究者を育成することを目的に宇宙栄養学コースが開講され、研究科一丸となり一層の努力を続けてまいります。



大学院医歯薬学研究所 保健学域保健科学部門 臨床腫瘍医療学分野 教授 近藤 和也

保健科学研究科は、高度専門医療人（がん専門看護師、助産実践コース、看護教諭専修免許、医学物理士コース）を育成するプログラムを有し、たくさんの大学院生が入学し、多職種カンファレンスやシミュレーション教育（スキルスラボを使用）を行っています。現在、国際連携大学院共同学位プログラムを（シリマン大学、セントポール大学）、来年度より博士前期課程の英語プログラムも開設し、海外留学生を増やしていきます。これからは医療教育開発センターの発展に尽力していきたいと思っております。

Tokushima Bioscience Retreat

COVID-19対応により、オンライン開催となりました。

日程：2022年9月2日(金)-3日(土)

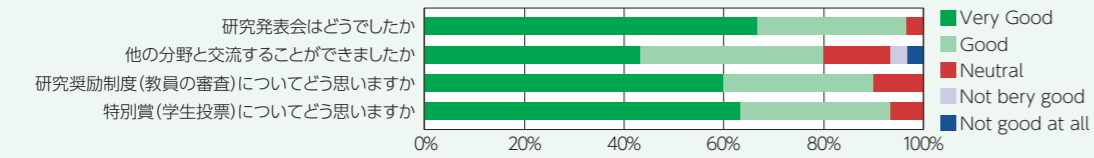
場所：オンライン開催(研究会:Zoom, 交流会:Gather)

特別講演：「Current status of Cancer - the front lines of treatment and education - がんを取り巻く日本の現状—治療と教育の最前線—」

講師：中川 恵一 先生(東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任教授)

担当：保健科学研究科(世話人:医用画像情報科学分野 芳賀昭弘教授)

参加人数：学生14名、教職員ほか12名



組織横断型教育クラスターによる大学院教育支援

①コアセミナー開催支援(2022年度41回開催)

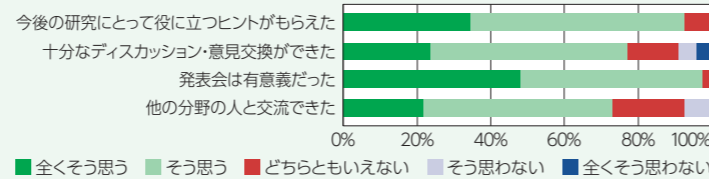
各クラスターが主催する講演会をコアセミナーとして学内の大学院生に紹介しています。

詳細：https://www.hbs-edu.jp/effort_category/education_support

②6クラスターそれぞれが開催するミニリトリート開催支援

2021年度に引き続き、COVID-19感染症対策としてWebを活用し開催しています。Web開催により海外在住の講師参加も実現しています。

発生・再生・遺伝	日時	開催方法	ミニリトリート参加人数(人)				
			院生	学部生	教員	講師	計
心・血管	2022.12.19	Teams開催	21	1	8		30
骨・筋とCa	2023.1.22	ハイブリッド(Zoom)日亜ホール	12	6	15	1	34
肥満・糖尿病	2023.2.2	第二臨床講堂	29	20	20	1	70
脳科学	2023.2.3	ハイブリッド(Zoom)日亜ホール	25	9	30	1	65
感染・免疫	2023.2.21	日亜メディカルホール	17	7	29	1	54
	2023.2.27	藤井節郎記念ホール	4	4	20	2	30
計			87	46	114	6	253



研究科共通カリキュラム科目 e-learning運営支援

manaba(My Mediasaite)を活用し、8科目のコンテンツ撮影、編集、配信を支援しています。

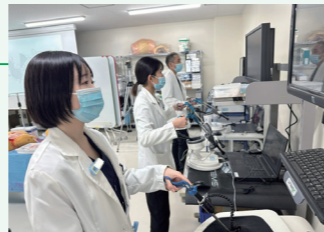
臨床技能学習施設(スキルス・ラボ) Clinical Skills Laboratory (CSL)

スキルス・ラボは医療薬共創センターに移転しました。新スキルスラボのご案内をご参照ください。

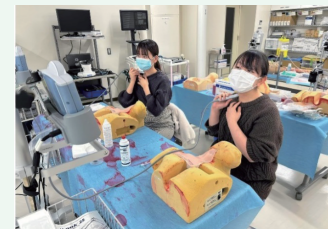
①低侵襲手術トレーニングプログラム

徳島大学では優れた外科医を養成する卒前卒後一貫教育として、各種シミュレータを備えたスキルス・ラボ、生豚に対応したメディカルトレーニングラボ、未固定遺体に対応したクリニカルアナトミーラボを活用し、「未固定遺体とシミュレータを用いた新たな実践型内視鏡下低侵襲手術トレーニングプログラム」に取り組んでいます。

医療教育開発センターでは岩田貴副センター長が中心となり、医学科臨床実習生を対象に高機能シミュレータを用いた腹腔鏡手術手技実習を行っています。

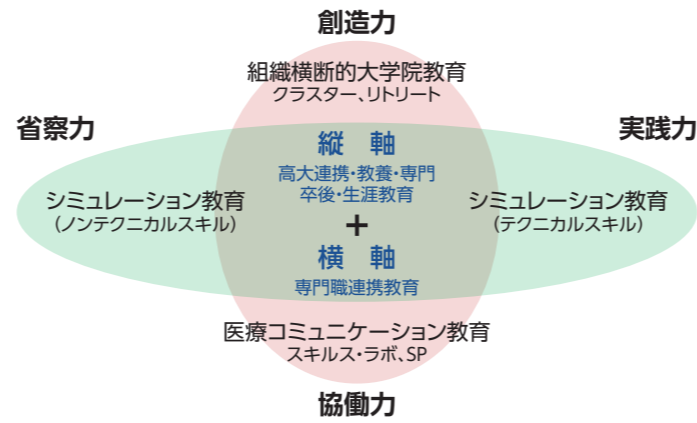
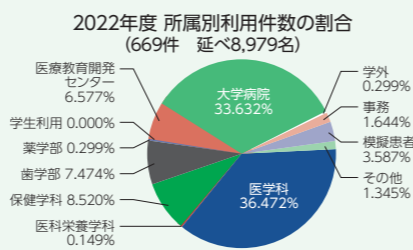
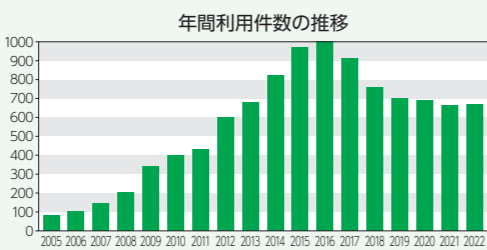
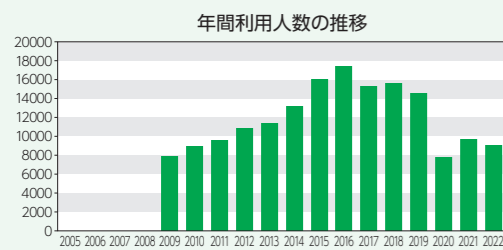
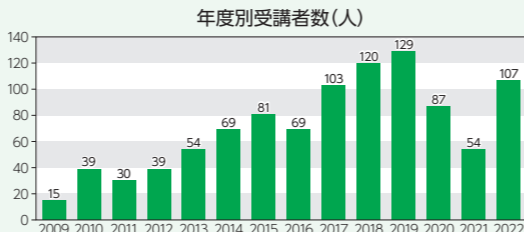


②中心静脈カテーテル(CVC)挿入個別講習会(シミュレーション教育)



超音波ガイドを使用した中心静脈カテーテル挿入方法、およびその解除方法を習得する講習会です。

徳島県下の病院研修医が受講でき、2022年度は徳島大学研修医の他、徳島県立中央病院研修医のべ24名、徳島市民病院研修医のべ24名、吉野川医療センター研修医のべ8名が受講しました。



2022年度活動実績

②第10回学部連携PBLチュートリアル

1年生合同WSに続く専門職種連携教育として、患者シナリオを用いた学部連携PBLチュートリアル教育が行われています。

今年度はCOVID-19感染症対策としてZoomを活用し、多学科学生が混在するグループに分かれてWSを行いました。

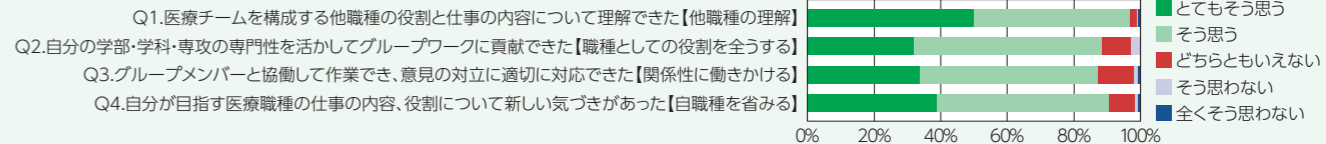
日時：2022年11月2日(水) 9:00-12:00

内容：提示されたシナリオ患者について、プロブレムマップを作成し、ケアプランを立案する。Zoomのブレイクアウトルームを活用して討議・発表を行う。

参加学生数：416名

医学科4年112名、歯学科4年42名、口腔保健学科3年15名、医科栄養学科3年53名、保健学科看護学専攻4年72名、保健学科放射線技術科学専攻4年34名、保健学科検査技術学専攻28名、薬学部4.5.6年60名

第10回学部連携PBLチュートリアル実施後アンケート(回答数392 回答率94%)



医療系学部による専門職連携教育

①第16回チーム医療入門～蔵本地区1年生合同WS

医療人を目指す学生が相互理解を深め、将来円滑なチーム医療を行える基盤形成を目的として、蔵本地区の1年生全員を対象としたWSが毎年開催されています。

2022年度は昨年に引き続き、COVID-19感染症対策を継続し、Zoomにて開催しました。

テーマ：ヘルスリテラシーを高めるには

到達目標：他者と協力してテーマについて討議(意見交換)し、プロダクトを作成できる。グループで討議した結果を、他のグループにプレゼンテーションできる。今後の自分の学習の在り方について、新たな気づきを得ることができる。

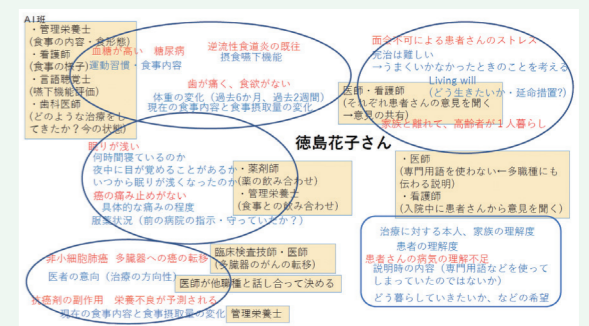
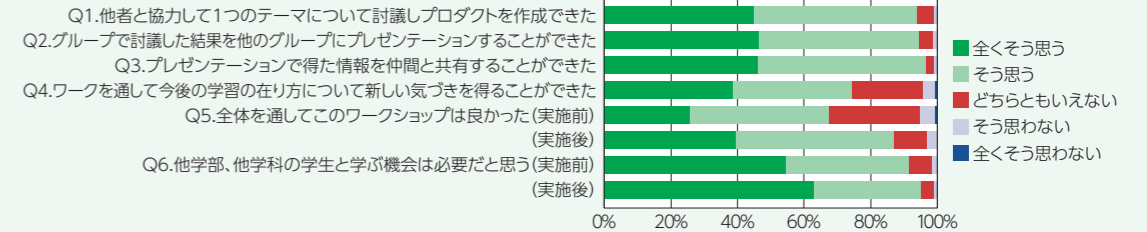
基調講演：ヘルスリテラシー in 蔵本2022

講師：山下理子先生(病理解析学分野)、今井芳江先生(がん看護学分野)、高尾正一郎先生(医用画像解析学分野)、中村有吾先生(総合相談部門)

日時：2022年9月30日(金) 13:00-16:30

参加学生数：416名(97%)

第16回チーム医療入門WS実施後アンケート(回答数371 回答率89%)



医学教育に関する研究実績(医療教育開発センター関係)

論文

- Hoshina Y, Yada K, Maki H, Yoshino T, Takaiso H, Akaike M. Medical English Education in Japan: Developing a Curriculum to Motivate Students by Providing Visualizing Opportunities Using Near-peer Teaching. J Med Invest 69: 332-334, 2022
- 藤川 理恵、高開 登茂子、久米 博子、三木 幸代、原田 路可、加根 千賀子、赤池 雅史、楊河 宏章、苛原 稔. モンゴル国A病院のモンゴル人看護師のリスク感性の分析 日本看護学会誌 18(1): 13-20, 2023

学会発表

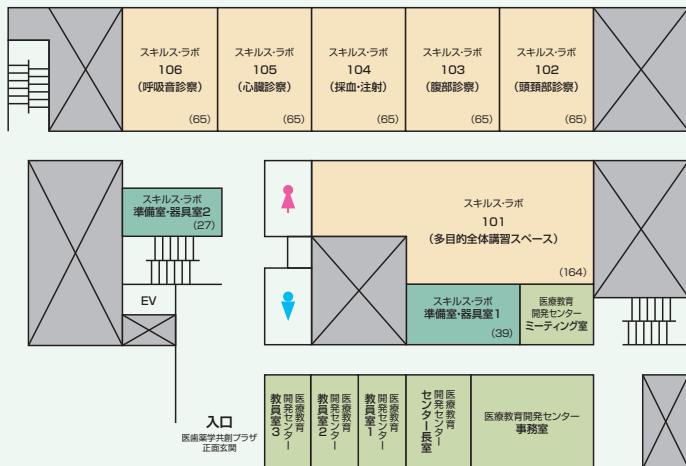
- 金山 博田、赤池 雅史、富田 江一、鶴尾 吉宏、西村 明儒、西良 浩一、和田 佳三. 徳島大学病院クリニカルアナトミー教育・研究センターの現状と展望 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会 シンポジウム 2023年3月18日 仙台市
- 赤池 雅史. 徳島大学・モンゴル医科大学協定校契約とJICAプログラム 第59回日本医学放射線学会秋季臨床大会 特別企画1「日本・モンゴル放射線学会交流セッション」2023年9月15日 徳島市
- 西田 憲生、常山 幸一、赤池 雅史. 医学科1年次における垂直統合型の早期体験実習の試み 第55回日本医学教育学会大会

◆ 新スキルス・ラボのご案内

2023年9月4日、医歯薬学共創プラザ（歯学部校舎西側）1～3階に徳島大学スキルス・ラボが移転しました。総面積1,596㎡と旧スキルス・ラボの約2.7倍の面積を有しています。各部屋に目的別にシミュレーターが配置され、広い空間で学ぶことが可能になりました。基本的なタスクトレーニングから、臨床現場に近い状況を設定して学ぶシミュレーショントレーニング、実習、技能試験、講習会などに、幅広く活用することができます。どうぞお気軽にご相談ください。



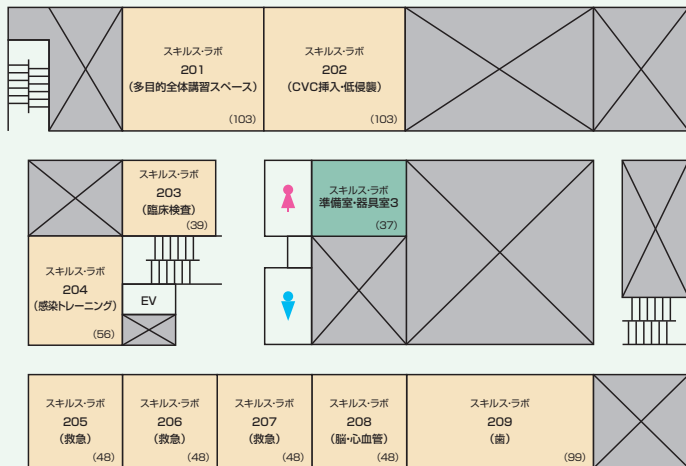
医歯薬学共創プラザ 1階



医歯薬学共創プラザ入口 医療教育開発センター／徳島大学スキルス・ラボ (医歯薬学共創プラザ 1～3階)

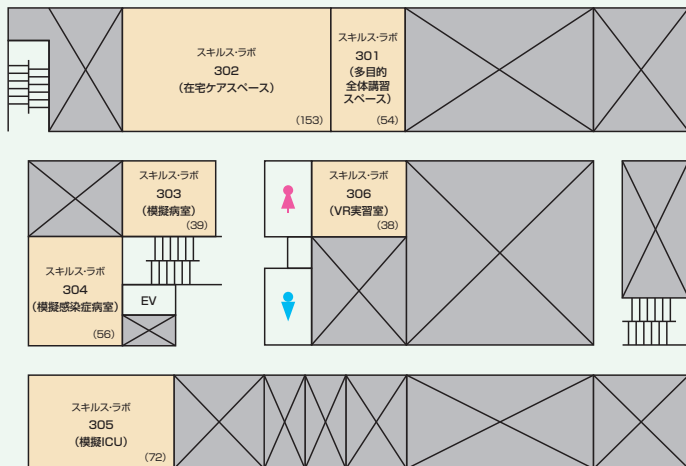


医歯薬学共創プラザ 2階



徳島大学の職員であればどなたでもID/Passを取得しスキルス・ラボの部屋/物品を利用できます。徳島大学学生、学外の方は窓口での直接申し込みになります。医療教育開発センターまでお問い合わせ下さい。

医歯薬学共創プラザ 3階



徳島大学 大学院医歯薬学研究部 医療教育開発センター 徳島大学 スキルス・ラボ

〒770-8503 徳島市蔵本町3-18-15

Tel.088-633-7533(内9631)

E-Mail : skills-labo@tokushima-u.ac.jp



スキルス・ラボ物品一覧

https://study.ait231.tokushima-u.ac.jp/tsos/item_catalogue/index.php



スキルス・ラボ予約システム

<https://study.ait231.tokushima-u.ac.jp/tsos/login.php>



医療教育開発センターHP

<https://www.hbs-edu.jp/>

()内は面積:㎡